

1985年9月28日。ドリフの「8時だよ！全員集合」が長い歴史に幕を下ろしました。約16年間、全803回。日本のバラエティー番組史上の最高視聴率を記録した一方、ある団体からは低俗番組として放送中止の申し入れをされたこともありました。令和の今となっては、やりたい放題の昭和のあの頃が懐かしいですね。

社労士がズバリ！ 職場のQ&A

今月のQ&A：【休憩時間の過ごし方の制限について教えてください】

Q 従業員30名の食品製造会社を運営しています。昼休みは正午から1時間で、多くの従業員は休憩室で過ごしています。取引先などから電話が入ると事務職員が対応してくれます。昼休みに社外に出してしまうと電話対応が難しいので、事務職員には昼休みの外出を控えてほしいのですが、そう命じることは問題でしょうか。

A 休憩時間とは、従業員を業務から完全に解放する時間のことをいいます。原則、休憩は一斉に付与しなければならないが、その時間は自由に利用させなければなりません。もし一斉に付与できない場合は、事前に労使協定などで、一斉付与が適用されない範囲について取り決めておく必要があります。また休憩時間を従業員がどのように過ごすかを、企業側が干渉することは禁じられています。休憩時間中に電話や来客の対応を命じたり、休憩時間の終了前に持ち場に戻るよう指導する行為は、法律違反となります。なお休憩時間中の外出を、届出制や許可制にする程度の制限であれば違法とはなりません。



光を放つ 名言コラム

【老け役をやって楽になった】

溝口健二、黒澤明など日本を代表する映画監督の作品に数多く出演し、テレビでも活躍を続けてきた俳優の香川京子氏。90歳だった2年前に、日経新聞のインタビューで俳優としてのこれまでを振り返り「50代のときに老け役をやって、すごく楽になった。きれいにしなきゃという肩の力が抜けて無理なく演技ができました」と語っていました。若い頃に娘役を演じていた香川氏は、いつまでも若く、きれいでいることを期待されていたのでしょう。若くて元気いっぱいだった頃。無我夢中で働いていた頃。そんなかつての自分を思い出し、愛着を感じられるのはすてきなことです。それゆえに「あの頃に戻りたい」と思うこともあるかもしれませんが。しかし過去を再現しようとするれば無理が生じます。時は過ぎ、私たちはその先の今を生きているのですから。私たちが味わい、生かすべきときは過去にではなく、目の前にあります。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【literacy】

9月8日は「国際識字デー（International Literacy Day）」です。「メディア・リテラシー」「情報（IT）リテラシー」などのように使われる“literacy”は「読み書き能力」や「(特定分野の)知識・能力」という意味です。“Literacy is a fundamental human right for all.”「読み書きは、すべての人が平等に有する基本的人権です」。

“Financial literacy is one of the most important skills for your life.”「金融リテラシーは、人生で最も重要なスキルのひとつです」という具合です。

排水溝のぬめりや臭いの予防として、丸めたアルミホイルを2〜3個ほど排水溝のカゴに入れてみましょう。アルミホイルが水に触れると金属イオンが発生し、排水溝で細菌が繁殖するのを防いでくれます。キッチンだけでなく、お風呂でも利用



ユウタとコハル

画：ゴハチ



一年生の時
お小遣いは五百円



それから毎年
百円ずつ上がって
四年生の今は八百円



何？

これが
どういうことか
わかるかコハル



ユウタ
そういう計算
だけではできな

お小遣い
もらう気？

あ

このベースだと
32歳で三万円！
少なすぎる！
大人なのに

振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【商売の神髄は「和して同ぜず」】

仕事上で意見が割れたとき、あなたはどうか対処しますか？孔子の『論語』にこんな一節があります。「君子和而不同（君子は和するも同ぜず）。これは「人と協力することはあっても、人の意見や態度にむやみやたらに同調しない」という教えです。この簡潔な一節には、商売の神髄ともいえる深い英知が秘められています。和するとは調和を保つこと。同ぜずとは、自身の個性を失わないこと。この、一見相反する2つの要素のバランスこそが、商売の成功へとつながる道だと思えます。たとえ少人数の会社でも、時には意見の食い違いから衝突することもあるでしょう。しかしその中で調和を見出しつつ、各々が自身の独自性を失わない。そう簡単にはいかないものではありませんが、そこに価値ある対話が生まれるのは確かです。調和を保つとは単なる同調ではありません。それは相手の立場を理解



し、尊重する姿勢です。経営者といえどもチームの一員と捉えれば、全体の調和を乱さない配慮を持ちつつ、同時に自分自身の信念や創造性を失わない。この絶妙かつ微妙なバランスを保つことこそが、真のリーダーシップだと孔子は述べてい

ます。調和を重んじるあまり自己を殺してしまったり、逆に自己主張が強すぎて周囲とのあつれきを生んだりすることもあります。その狭間で揺れ動くのが経営者かもしれません。だからこそ孔子は「和して同ぜず」を「君子」の特質としてあげ、理想の姿として私たちに示したのでしょう。日々の決断の中で調和と個性のバランスを取り続ける。その積み重ねがやがて企業文化となり、会社の個性となっていくのではないのでしょうか。

ナットク！ 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ビジネスケアラー】

仕事をしながら家族などの介護をする人を指す。少子高齢化や共働き世帯の増加などにより、その数は2030年時点で318万人に達し、労働生産性の低下に伴う経済損失は約9兆円にのぼると経済産業省が予測した。企業には柔軟な勤務形態の導入や、専門家による相談窓口の設置などの適切な支援を行うことが求められる。

事務所公式LINEを始めました。
法改正など必要な情報を短い動画で配信していきます。
ぜひ登録してください！



就業規則・給与計算・有休の相談などなら
社会保険労務士・行政書士 中奥事務所

〒668-0024

兵庫県豊岡市寿町5-3

電話：0796-24-8677

FAX：0796-24-8678

